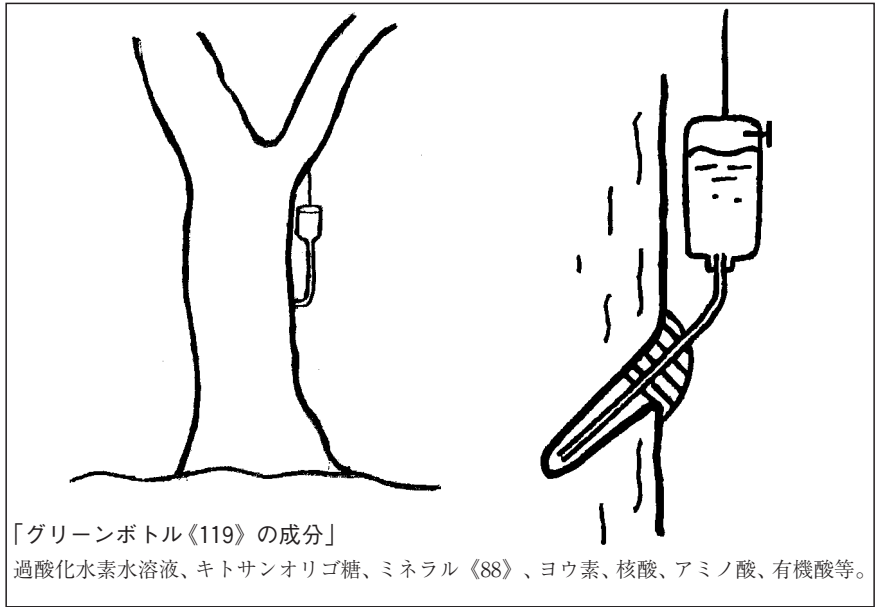


＜松枯れから松を救済・新技術が特許として認められる＞

全国的に松枯れが蔓延し、数百年を経た松の古木や、松並木が無惨に枯れている。松枯れは、マダラカミキリが媒介する材線虫が原因といわれているが、農薬で解決できない今日、材線虫の入った松を伐採焼却処分するのが唯一の有効な手段であった。しかし、当社では農薬を一切使用しない、松にとって活性促進となる全く新しい松枯れ防止材を開発した。(特許第2811512号 特許第3095551号)

■使用方法 (模式図参照)

1. 材線虫の入った松の幹の目通りの高さ斜め下方に、直径10mm、深さ数10mmの穴をあける。
2. 本液の入った2リットルビンから出ているホースをこの穴に挿し込み、コーキング材で密封。
3. ビンを逆さに吊り上げ、あたかも人間に点滴するかのように、松の幹に7～10日かけて薬液を注入する。
4. 冬期は根部に穴をあけ注入すると効果があります。



グリーンボトル《119》使用模式図



瀕死の松 (長野県上田市常磐城蓬泉寺)



本技術により樹勢が回復

「効果」

1. 注入された過酸化水素、ヨウ素、ホウ酸やキトサンオリゴ糖の殺菌作用で材線虫と共生している有害微生物が死滅し、材線虫が死滅する。人間の腸内細菌死滅と同じに、消化不良による衰弱死。
2. その結果、これら有害生物と共生しているマダラカミキリの幼虫は成長できず、死滅する。
3. 薬品中に含まれる酸素、ミネラル《88》、核酸、アミノ酸、キトサンオリゴ糖、有機酸等の栄養素が樹液に注入され、木の生理が活性化し、根からの栄養素吸収も活発になり、樹勢が回復する。

「松枯れ防止・活性をより確実に」

多種特殊微生物配合肥料バイオマグマ《110》併用を推奨。
一度材線虫が入った松は痛めつけられ、根からの栄養吸収能力も低下している。グリーンボトル《119》にバイオマグマ《110》を併用することで樹勢の回復が、一層促進されます。バイオマグマ《110》には以下の特長があります。

1. 根回りの微生物環境を整え、有効微生物の増殖を促進し、栄養分を豊富にする。
2. 根毛の成長を促進し、リン酸やミネラルの吸収を旺盛にする。
3. 土壌環境を改善し、保水・排水性を良好にする。

「施肥方法」

壺堀、溝堀、全面堀り等で、樹幹を中心に20～25cm掘り下げ、バイオマグマ《110》を施し、覆土する。

「バイオマグマ《110》の成分」

バイオマグマ《110》松枯れ防止活性の素無機有機成分分析表 (%)						バイオマグマ《110》松枯れ防止活性の素微生物数				
水分 (H ₂ O)	43.0	石灰全量 (CaO)	4.81	ほう素全量 (B ₂ O ₃)	0.02	全炭素 (C)	28.52	好気性細菌数	23×10 ⁹ 個/g	1g/230億
窒素全量 (N)	1.47	苦土全量 (MgO)	0.52	強熱減量 (有機物)	10.66	炭素率	24.8	放線菌数	23.5×10 ⁸ 個/g	1g/23億5,000万
りん酸全量 (P ₂ O ₅)	4.76	けい素全量 (SiO ₂)	20.14	粗腐植酸	13.0	バナジウム (V)	1.7mg/kg	糸状菌 (かび) 数	15.5×10 ⁵ 個/g	1g/155万
加里全量 (K ₂ O)	1.86	マンガン全量 (MnO)	0.03	酸化鉄 (Fe ₂ O ₃)	0.92	電気伝導率 (現物10g/100ml・25℃)	2.32ms/cm	光合成細菌数	21.5×10 ⁴ 個/g	1g/21万5,000
						その他、多元素共存ミネラル				